



第2回 学校運営協議会だより

令和5年7月7日
横浜市立山王台小学校
校長 遠藤 清美

7月6日(木)に、今年度、第2回目の「学校運営協議会」が行われました。その際にいただいた意見などを紹介させていただきます。

1 令和5年度 学校運営協議会委員

2 第2回 学校運営協議会の内容

○特別支援教育について ○重点研究会について ○授業参観について 等
次は、いただいたご意見の一部です。

- ・低学年において、タブレット端末の導入がかなり進んでおり、それを使いこなしている子どもたちに驚いた。
- ・昔と違い、子どもたちが機械と一緒に学習していること、そしてそれができることがすごい。
- ・タブレット端末には反対。例えば、今の若い者は、課題を与えてもすぐに計算機を出して頼ろうとする。子どもの頃から頼りすぎるのは危険。
- ・タブレット端末を用いて学習するなら、使用するときと、使用しない時のメリハリ、使い方の工夫をきちんと身に付けるようにしないといけない。
- ・子どもが自分たちの考えを写真で撮って、タブレット端末に取り込んでいた。取り込むことはすごいですが、記述という作業がおそろかになってはいけない。使い分けをうまくしていくことが大切である。
- ・各学年、学習目標に向かって取り組んでいた。
- ・低学年の授業では先走る子もいなく、発想の連鎖を子どもたちでうまく繋げていた。
- ・高学年、静かすぎるクラスがあった。もう少し元気があっても良いかも。
- ・算数の学習で x 、 y 、 z を用いていたが、中学から使用した方がよいように思える。

- ・授業が静かで発言する子ども少なく、誰が学習内容をきちんと理解していて、誰がわかっていないかをつかめなかった。質問が飛び交う雰囲気も必要なのでは。
 - ・外国語の授業に楽しく取り組んでいた。
 - ・どの子ども気持ちよく学習しているようだった。そこまでの準備をしてきた教師の大変さがあってこそだと思う。
 - ・学習内容は高度なものもあったが、子どもたちはよく理解して、問題などを解いているようだった。
 - ・エアコンがない場所での学習活動もあったが、学習する環境としては、厳しい部分があるのではないかと。協議会からの呼びかけで設置する方向にもっていったらよいのだが。
 - ・学校という施設なのにエアコンを設置できないのは厳しい。横浜市の小学校において、設置数等、どんどん拡充はしているので今後に期待したい。
 - ・一人一人、個人のスペースが確保されていた学習環境もあり、子どもたちはよく集中して取り組んでいた。
 - ・音楽の授業では、子どもたちが楽しく学習していた。譜面台の片付けも、お互いに声を掛け合い助け合っていた。
 - ・子どもたち同士で、優しい語りかけをしている場面がよく見られた。
-
- ・先生方が授業中真剣で、少し怖く感じられる部分もあった。いつも笑顔を見せるようにすることも大切だと思う。ただ、児童が好き勝手な行動をすることも心配だから、バランスをとって取り組んで欲しい。
 - ・子どもに笑顔で接することは基本であり、安心感をもたせることが大切である。
 - ・音楽室にグランドピアノがないので、壮大な生の音を聴いて学習する機会を作ってもらえたらと思う。
-
- ・世間では、小さい子をおとなしくさせるために、おもちゃを与えず、タブレット端末を与えて静かにさせている。そういう子がそろばん塾に通っている。小さい頃に教えるべきこと、それはたくさんあるはず。
 - ・アルファベットも今の時代は筆記体すらない。昔と比べると学習する内容もどんどん変わっている。
 - ・塾と学校の教え方の違いで、子どもの学習の理解度が全然違ってくるのではないかと。
 - ・これからも子どもたちを、学校でしっかり育ててほしい。

その他、様々なご意見をいただきました。ICT 機器をより効果的に学習に活用していくこと、子どもと教師が常に笑顔で生き生きと学習に取り組んでいくことなど、授業時間はもとより、日々の教育活動全体で意識して取り組んでまいります。

今後も子どもたちのために、学校、家庭、地域の皆様が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携した学校づくりを進めていくことができるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

